

略歴

クライブ・ジェームズ博士 (Dr. Clive James)

国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 会長

1990 年、資源に乏しい発展途上国の農業生産者のため、知識の共有及び工業国からの農業バイオテクノロジー応用技術の取得や移転を促進するために、非営利慈善団体である国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) を自ら設立。英国で教育を受け、ケンブリッジ大学で農学博士号を取得。ISAAA を設立以前は、メキシコの国際トウモロコシ・コムギ改良センター (CIMMYT) 事務局次長を務め、そこでノーベル平和賞受賞者で ISAAA の後援者であるノーマン・ボーローグ博士とともに職務を遂行。過去 25 年間は、生活・仕事の場をアジア、ラテンアメリカ及びアフリカの発展途上国に置き、農業の研究開発問題や農作物バイオテクノロジーに貢献した。また、カナダ国際開発庁 (CIDA) の農業分野の相談役として国連食糧農業機関に勤務し、また UNDP を含む多くの国際的開発機関、世界銀行、及びロックフェラー財団や日立財団などの多くの国際慈善団体の顧問も務める。遺伝子組み換え作物が 1996 年に最初に商品化されて以来、同博士の発表する遺伝子組み換え作物の世界的状況に関する年次報告は国際的に認知されている。

ランディ A. ホータ博士 (Dr. Randy A. Hautea)

国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 国際コーディネーター兼東南アジアセンター理事長

ランディ A. ホータ氏は、現在、国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 国際コーディネーター兼、フィリピンを本拠とする東南アジアセンターの理事長を務める。コーネル大学において育種学の博士課程、フィリピン大学ロスバニョス校において農学の修士課程及び育種学の学士課程を修了する。フィリピン大学ロスバニョス校育種研究所長を経て、1998 年、ISAAA に参加。ミネソタ大学の農学及び育種学の客員研究員も務める。

国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) について

国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) は、国際的非営利慈善団体であり、遺伝子組み換え作物に関する知識を国際社会で共有し、農業で生計を立てる資源に乏しい発展途上国の農業生産者に対し、バイオテクノロジーの利用に協力して、飢餓と貧困を解決するべく活動している。

- ISAAA は、公的機関と私的機関が共同スポンサーとなっている。年次報告書は、Bt トウモロコシ栽培が盛んな地域を拠点とするスペイン第 4 位の規模を誇る銀行であるイベルカハ、および遺伝子組み換え作物について国際社会が科学的知識に基づいた判断を可能にするため、知識の共有をサポートするイタリアのブッソレラ・ブランカ財団が資金提供をしている。
- ISAAA の報告書で発表された統計は、政府機関や公的ならびに私的セクターのその他機関を含む、幅広い情報源からの統合データベースに基づいており、科学雑誌や国際報道機関で広く引用されている。